



2020年7月30日

各 位

会 社 名 株式会社セプテーニ・ホールディングス
代表者名 代表取締役 グループ社長執行役員 佐藤 光紀
(JASDAQ コード番号 4293)

2020年9月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2020年9月期第2四半期決算発表時に開示しました2020年9月期通期（2019年10月1日～2020年9月30日）の連結業績予想を修正することといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2020年9月期通期連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

	収益	Non-GAAP 営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想（A）	百万円 17,000	百万円 1,250	百万円 720	円 銭 5.69
今回発表予想（B）	17,500	2,000	1,100	8.70
増減額（B－A）	500	750	380	—
増減率（％）	2.9	60.0	52.8	—
前期実績 （2019年9月期通期）	16,796	2,065	△547	△4.33

(注) Non-GAAP営業利益は、IFRSに基づく営業利益から、減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整した恒常的な事業の業績を測る利益指標であります。

2. 修正の理由

当社は、新型コロナウイルス（以下「COVID-19」）の世界的な感染拡大による経済の冷え込み、また4月上旬に発令された緊急事態宣言下における外出自粛や消費行動の抑制に起因する広告需要の減少を踏まえ、2020年4月28日に、当時想定した最も悲観的なシナリオをもとに、2019年10月29日公表の通期業績予想を修正いたしました。

その後、5月中旬には緊急事態宣言が解除され、経済活動が緩やかに再開していくとともに、3月後半から減少を続けていた広告需要も5月には底打ちし、6月以降、回復の傾向が徐々に強くなってきております。

さらに、当社では緊急事態宣言解除後も、従業員に対する在宅勤務推奨を継続しており、これに伴って、営業活動関連費用を中心にコスト管理が進んでおります。

これらの状況を踏まえ、前回の決算発表時点での予想を上回る見通しとなりましたので、業績予想を上方修正いたします。

当社では、引き続きデジタルトランスフォーメーションの加速による需要の拡大を中心とした新たな収益機会の追及、コスト管理による経営のパフォーマンス改善、またPost COVID-19の社会に適合した経営モデルの構築を進め、業績予想の達成、企業価値の向上に努めてまいります。

(ご注意)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。

以 上

■本件に関するお問合せ先

経営企画部 IR課 E-mail: ir@septeni-holdings.co.jp TEL : 03-6857-7258 (※)

※2020年7月30日現在、COVID-19感染拡大の影響を受け、在宅勤務体制を実施中のため、電話でのお問い合わせは受け付けておりません。上記のEメールアドレスまでご連絡をお願いいたします。